

日本地球掘削科学コンソーシアム IODP 部会

執行部会 会議メモ

2003.10.21 IODP 部会事務局

日時：平成15年10月17日（金） 15時00分～17時30分

出席：執行部 徳山・荒井・伊藤・加藤・巽、部会長補佐 斎藤、事務局 山川・西川

場所：海洋科学技術センター東京連絡所

【執行部の新体制について】

- ・ 産業技術総合研究所の荒井晃作氏が執行部に加わった。
- ・ 技術開発推進専門部会の担当は伊藤→荒井に変更。
- ・ 事前調査検討専門部会の担当は当面徐・荒井の2名で行う。
- ・ 国際交流・渉外担当に木村を追加。
- ・ 資金獲得・予算計画・会計担当は木村→荒井に交代。
- ・ **Education & Outreach Manager (IODP 国際対応)** 担当役を設ける。当面斎藤部会長補佐が兼務するが、近い将来執行部を増員する（候補者の選定を始める）。
- ・ 各専門部会に、部会長を補佐する担当役（副部会長など）を置くように要請する。

【各パネルの委員選任等について】

- ・ IODP 部会長からのメッセージ・SSEPs 委員の選任通知について、最終確認。17日付で発信する。
- ・ 各パネルとも、7名の正委員を選出できるように準備（実際の人数についてはパネルでの決定に従う）。
- ・ J-DESC の年間活動、パネル・専門部会の年間計画（マスタープラン）を作成。（斎藤部会長補佐）

【SSEPs 事前打合せ（地球環境・地球内部・地下圏微生物専門部会）への対応】

- ・ 3 専門部会は個別開催となる。
- ・ 各専門部会にそれぞれの専門部会長がリエゾンとして参加するよう要請。
- ・ J-DESC レターの取扱につき、各専門部会で検討し、日本側 SSEPs 委員の意思統一を目指す。（たたき台を地下圏微生物専門部会で作成し、地球内部・地球環境専門部会で検討）
- ・ 新潟 SSEPs 会議報告（山本委員）を、J-DESC レター検討用の資料として配布する。

【第1回汚染防止安全専門部会報告】

- ・ PPSP メンバーの増員について検討中。
- ・ PPSP 委員の代理委員は、各委員の責任のもと、それぞれ事前に選任する。
- ・ 専門部会のマニフェストについて検討し、森田専門部会長が再度修正し、作成する。将来へ向けたサポート体制の充実を目指す。

- ・ PPSP 長崎会議（12月）が議題の一つであった。IODP における LWD/MWD について SciMP（PPSP と同時開催）と合同で議論するため、事前打合せを持つ（長崎会議の前日を予定）。

【第1回 SciMP/PPSP の開催準備について】

- ・ ホスト（PPSP：森田・西川、SciMP：斎藤・西川）で準備作業進行中。近々現地の下見を予定（長崎大・長崎プリンスホテル、ほか）。
- ・ 今回は市民講演会等は行わない方向。

【IODP 関連 PUBLICATION について】

- ・ IODP 関連 Publication に関する意見集約のためのアンケートを実施する。コンソーシアムメンバーリングリスト、ホームページ等を通じ、広く回答を求める。（斎藤原案作成中）

【IODP 発足記念科学シンポジウムの準備状況について】

- ・ 準備は順調。
- ・ 各講演者から、講演に使用したパワーポイントファイルをもらう。これを、シンポジウム終了後発行予定の冊子等に利用する。
- ・ 総合司会は西川が担当。

【AGU への対応について】

- ・ タウンミーティングには J-DESC として我が国の現状について講演（伊藤）。
- ・ ブース展示は JAMSTEC ブースに共催の形で参加（JAMSTEC と調整する）。
- ・ ブース展示にあたり、コンソーシアムは、人的支援（ポスター資料作成支援と当日の解説者の配置）、ポスター制作費の一部負担、をやる方向で JAMSTEC 担当者と調整。コンソーシアムからは現地解説担当として斎藤部会長補佐と西川事務局員が対応（AGU 参加中のコンソーシアム会員もこれに協力）。

【年度末の国際シンポジウムについて】

- ・ 開催に向け具体的な準備を開始する。（伊藤・徐・巽）

【乗船研究者の選出について】

- ・ 募集・選出方法について、たたき台を作成する。（荒井）
- ・ パネル同様、年間計画（マスタープラン）を作成し、これに従った募集・選任作業を進める。原則乗船9ヶ月前の募集を目指す。（斎藤）

【その他】

- ・ 孔内計測 WG の設置・第1回会議の報告があった。
- ・ OPCOM 会議の報告があった。
- ・ JOI-USSAC の担当者との意見交換のため、巽・斎藤がワシントン訪問（11月18日）。

- ・ MEXT/JAMSTEC/コンソーシアムの連携について検討進める。
- ・ 普及活動は今後も積極的に継続。各会員機関校での特徴（得意分野）を生かしたシンポジウム開催などを検討。JAMSTEC 広報担当者とも連携を目指す。
- ・ 会費未納機関への第 2 回目の督促を行う。（徳山部会長から直接該当機関代表へ）
- ・ 事務局より、AESTO 内の新体制について説明があり、山川科学掘削推進部長（今後コンソーシアム事務局・専門部会等を担当）が紹介された。
- ・ 次回執行部会（定例）を、11月14日（金）15時から JAMSTEC 東京連絡所にて開催する。
- ・ 10月25日（土）シンポジウム終了後、臨時執行部会を開催する（案件：シンポジウムの内容のとりまとめ など）。

IODP 部会執行部 Action Item

2003 年 10 月 17 日
コンソーシアム事務局

Action Item	作業内容	備考
各種委員選任	☆パネル委員選定について（専門部会で対応） →パネル委員の引継ぎ方法も含む ☆委員候補者・所属機関への連絡徹底、依頼状送付について	
国際対応	☆国際シンポジウム開催計画	
国内対応	☆各種予算要求への対応（含・MEXT 対応）	
専門部会	☆第 1 回汚染防止安全専門部会開催（10 月 15 日・東京） ☆第 1 回孔内計測ワーキンググループ（10 月 17 日・東京） ☆第 2 回地下圏微生物専門部会開催（10 月 18 日・高知） ☆第 2 回地球内部・地球環境専門部会開催（9 月 11 日・東京） ☆第 2 回科学計測専門部会（11 月）	
情報発信・広報	☆IODP 発足記念科学シンポジウム（10/25）準備状況 ☆技術キャラバンについて ☆AGU への対応（英文パンフ・現地での対応 など） ☆高校生向けパンフレットの作成	
コンソ予算	☆会員提案型活動経費の後期分の募集中 ☆未納機関への督促	
その他	☆陸上掘削部会設立対応（継続） ☆プロポーザルの進捗状況（専門部会担当者）	
前回まで検討済み （備忘録）	☆国際パネル委員の公募について（来年度以降？） ☆国際パネルの事後報告について（実施方法を検討） ☆新任委員へのレクチャーについて（10 月の委員交代時期に対応） ☆J-DESC と UK（ECORD?）との協力関係について（担当:加藤・井龍） ☆IODP Information Service Center 構想について	

◎次回（臨時）開催日：10 月 25 日土曜日シンポジウム終了後（開催場所：神戸）

◎次回（定例）開催日：11 月___日金曜日 15 時 00 分～（開催場所：JAMSTEC 東京連絡所）